

博物館について

歴史



マラソンプロジェクションセンターは、マラソン市で初めて設立された学校があった場所に設立されました。このマラソン市で初めての公立学校は、1908年から1910年頃にかけて、国に多大な貢献をしたアンドレアス・シグロス氏の寄付により建てられました。校舎は1930年から1932年にかけて増築され、1960年から1965年にかけて現在の形が完成しました。

2004年、オリンピック実行委員会“ATHENS 2004”の主導により、当時のマラソン市市長であったバルバス・フリストス氏は、建物を委員会に譲渡することを決定し、その後、アルファ銀行(Alpha Bank)が無償での改築を提供しました。2004年より、マラソンプロジェクションセンターは、スイス・ローザヌムのオリンピック博物館よりマラソン市に寄贈された“オリンピック・マラソン(OLYMPIC MARATHONS)”を展示しています。ここには、マラソン競技(オリンピックのマラソン競技や国際マラソン、女子マラソンなど)の歴史についての文章や写真が展示されています。2007年には、マラソンプロジェクションセンターはスポーツ博物館に形を変え、ギリシャ国内外の著名なマラソンランナーからの寄贈品を展示しています。



4000点を超える展示物が、1896年から今日に至るまでのマラソンの歴史を記録しています。これは他に類を見ず、マラソン競技の発祥の地であるマラソン市の唯一無二のものであります。展示は大きく2つに分けられており、1つ目の建物にはオリンピックのマラソン競技の歴史が貴重な品々により展示されています。2つ目の建物には、世界中で開催されるマラソンレース、オリンピック金メダリスト、女性マラソンランナー、マラソン選手の愛用品の、4つのテーマ別に分けられた部門にて、世界的なマラソン競技に関するムーブメントが記録されています。



博物館には、1896年にアテネで開催された第1回近代オリンピックのマラソン競技で優勝したスピロス・ルイス氏のメダル、パナシナイコスタジアムで授与されたカップの複製、そして彼の所有物が展示されています。また、1896年3月10日に行われた史上初のマラソン競技にて優勝、1896年のアテネオリンピックで準優勝したハリラオス・ヴァシラコス氏のメダルや愛用品、個人的な所有物も展示されています。

更には、1946年のボストン国際マラソンで優勝したステリオス・キリアキーデス氏のカップやメダル、数々の遺品も展示されています。そして、バルカンゲームズのメダリストであり、平和運動活動家でギリシャの国会議員(1961年ー1963年)でもあったグリゴリス・ラブラキス氏の貴重な品々もご覧いただけます。彼の残した業績の中でも最も注目すべき展示物の一つが、1963年に行われた平和マラソン行進にて用いられた平和の紋章が入った有名な旗です。

本博物館は、ギリシャの偉大なマラソンランナーや各国のオリンピックチャンピオンのメダルやカップを始め、非常に貴重な数々の展示物を所蔵しています。

翻訳



Αρά Πύο 新井 良

筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程体育学専攻修了。翻訳、通訳業に従事。東京オリンピックに関して、ギリシャ陸上連盟(ΣΕΓΑΣ)と協力。

Αναστασία Κατσαντώνη アナスタシア カチャントニ

政府公認ライセンスガイド。翻訳者や通訳、コーディネーターとしても、テレビ局を中心に日本のメディアと協力。テレビ番組をはじめ、日本のメディア出演も多数。『東洋経済オンライン』にて執筆中。